

居合道だより

令和 7年 11月

第232号





はじめに

田川居合道同好会 中島 浩

厳しい暑さも影を潜め、やっと朝晩の冷え込みが増す季節となりました。

今年は「インフルエンザ」の流行が昨年より一か月程度早く、「マイコプラズマ肺炎」などが流行しているとの報道もあり、古希を迎えた私は人混みを避け、テレビの前にいる日々を送りつつ、次の目標に向け試行錯誤していますが、皆さんは体調など崩されていませんか。

さて、10月に全日本居合道大会が開催され、当県からも酷暑の中、強化委員会のサポートを得ながら稽古に励んだ3名の選手が参加されましたが、最高の成績を収めることはできませんでした。

しかし、どの試合も紙一重の勝負であったように私には見えませんでした。

この悔しさは、選手の皆さんが一番感じていることと思います。

選手並びに強化練成会に携わった全ての皆さま、大変お疲れさまでした。

私は個人演武に参加し、今年の課題を「雰囲気気後れすることなく抜き切る」としていましたが、その場の空気に流され、結果、課題未達成に終わり猛省しております。

また、11月下旬には東京で六段、七段ならびに八段の審査会を控え、受審予定の皆さんは目標達成に向け最後の追い込みをされている時期かと思います。体調を万全に整えて当日を迎え、良い結果を得られるよう準備を進めてください。

皆さん、これから稽古をするには最高の季節となりますが、頑張り過ぎて「肘」や「膝」などに支障をきたすことがないよう、「コツコツ」と頑張っていきましょう。

最後になりますが、11月24日（月）（勤労感謝の日の振替休日）に、長年お世話になった福岡武道館（中央区大濠）での最後の稽古会が開催されます。お忙しいとは思いますが、多くの皆さまのご参加を、よろしく願いたします。

*「皆勤賞」、「精勤賞」がかかっていますよ！！

第60回 全日本居合道大会

〈開催日〉2025年10月11日(土) 〈開催場所〉東京武道館(東京都足立区綾瀬)

教士七段

初めて監督を務められた和泉修二先生 「優勝選手との差はわずか!」

第60回 全日本居合道大会が、2025年10月11日(土)に東京武道館で行われました。今回は、強化委員でもある和泉先生が初めて監督を務められましたので、錬成会から大会終わるまでに感じたこと、考えられたことを聞かせていただきました。紙面に限りがありますのでその一部を紹介し、和泉先生から見た全日本としてお伝えいたします。



監督：和泉修二先生 七段の部：井手烈太郎選手
六段の部：ジェームス・ジャック選手
五段の部：松田武尊選手

—— 初監督としてのチームマネジメントお疲れ様でした。まずは感想をお聞かせください。

試合当日は選手に任せるしかないのですが、強化稽古会では各選手の技術向上はもちろん、試合に向けた気持ちをどう高めることができるかということに悩みましたが、馬場先生、川路先生をはじめ強化・研修委員の先生方と協力して指導した結果、約3ヶ月の短い期間で仕上がる事ができたと思います。

結果はともかく、優勝した選手との差はわずかだと感じています。

—— 試合前には選手にどのようなお声をかけられましたか。

試合直前の選手は一番集中してる時なので、何かいうのではなく気持ちを高めている邪魔をしないように気をつけましたが、隣の対戦相手ではなく、目の前の仮想敵を意識することだけは伝えました。

—— 今後の強化稽古会としての取り組みや直近の全日本選手候補者の心得などのアドバイスはありますか。

予算や場所の問題はありますが、各段2~3名が毎回緊張感のある稽古をすることが大事だと思います。試合前日までは選手の変更もできるので、補欠の選手も取って代わるつもりで稽古して欲しいと思います。

—— 今年の錬成会は四段からも参加がありました。

これから全日本を目指したいと思っている会員さんに向けて、ひと言お願いいたします。

代表選手の居合をみて、「自分は叶^{かな}わない」と諦めるのではなく、「自分が代表になってやる」という強い気持ちを持って稽古してほしいと思います。各段一人ずつしか、出場できないので全員が出場することはできませんが、今の選手に代わる選手ができることで、毎年福岡県のレベルも高まると思います。

〈強化錬成会指導の先生〉 教士八段／川路俊博 教士七段／吉田初喜 教士七段／世利慎吾
教士七段／津村久美 教士七段／和泉修二(監督)
事務局長 教士八段／馬場清治
事務局 教士七段／野田尚徳

【敬称略・順不同】

和泉先生は5段の時2回、6段の時1回、七段の時5回合計8回もの全日本出場経験を持たれており、試合に関する見識の高い深い広い「強化・研修委員」の一人として日頃からご指導をされています。

このたびは「居合道だより」掲載のご協力、誠にありがとうございました。(企画・広報委員/佐伯)



大会の結果や写真等は全剣連の公式サイトでご覧いただけます。
試合は全剣連 YouTube でも配信されています。



11月 16	(日)	地域稽古会 居合道部	みやま市	
20	(木)	称号(教士・錬士)審査会居合道	全剣連	千代田区
24	(月・祝)	福岡県居合道稽古・称号講習・級審査会	福岡県	福岡武道館
29	(土)	居合道八段審査会	全剣連	江戸川区スポーツセンター
30	(日)	居合道七・六段位審査会	全剣連	江戸川区スポーツセンター

編集後記

先日テレビを見ていたら、「HANA」というガールズグループが出演していた。最近この名前よく見るなあって思いながら流していたが、「ん？なんだこの子たちの歌のうまさは？」「歌がヒップホップだからわかりにくいけど、ダンスも他とは一味違う」「今流行りのK-POPかな？」などと思いながら見ていたら、どんどん引き込まれた。番組が終わったあと、そのグループのオーディション番組を探して「Hulu」で追いかけた。〜〜〜涙が止まん〜〜〜

何に感動したんだろう？ 若い娘たちが死に物狂いでオーディションを受けながら、内気なところや自分の欠点などを克服していくというストーリー。当然、仲良くなった人も支えてくれた人も全て切り落とされ、やがてファイナルへと……（って、去年の番組やんかw）。

「チャンミナ」なんて、ちょっと変わったアーティストぐらいに思ってたけど、その感覚を見事にひっくり返された。また、「チャンミナ」が指導でいちいち言うことが胸に刺さる。「死ぬほど頑張ってズバ抜けなきゃ認めてもらえないの」や「どんなかたちでもどんな形でも絶対咲くの、それって。その花って」など、叱咤激励に愛情がこもっている。

自分的には、番組で言われていることがグサグサ刺さってくるのが不思議で、オーディションを受けている子たちが、自分の立ち位置（どのレベルにいるのかなど）や、自信のありようなどに迷っている様子が手に取るようにわかる。それを振り切るだけの練習！ これは武道の修行にも通じるなあ〜！ ファイナルも14人が2チームに分かれ誰が選ばれても不思議じゃ無いのですが最後に選ばれたのは七人（一人は福岡の子で、Chika）。福岡出身の子は歌が頭抜けていて、見ると後ろにひっくり返るよ！ 期待を軽く超えてくる！

最近、居合道部にも若い子たちが入ってくるので、こういった指導方法や特に「言葉」は実に勉強になりました。感謝！

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部
 第232号 令和7年11月発行
 発行：福岡県剣道連盟居合道部
 URL: <http://riai.info/>
 発行人：井手友太
 〒819-1132 糸島市有田36番地-1
 TEL:092-322-0847
 編集：有限会社FEW